

## 先生・お薦めの一冊

### 『サラバ! (上・下)』 西加奈子 著 (小学館)

芸術科・美術 中嶋 友美 先生

これは物語である。が、物語ではない。

オビに書いてある言葉は、「魂を揺さぶられる」とか、「いま一番読み返したい一冊」とか、なぜか物語の内容がわからない一文が並ぶのだ。それが最初は不思議だった。

西加奈子の『サラバ!』は、重く読みづらい上巻と、あっという間に読み終わる下巻からなる。主人公「歩」が生まれてから今までの、細かな情景と心理描写で綴られている。外見が良く、周りの空気を読み、空気のように人生を生きていく主人公。主人公は生まれてから今まで、波瀾万丈な人生を送っているのだが、主人公自体が冷めた目線で物事をとらえるので、大きな山も谷もなく物語は進む。その何が面白いのか。面白くない。だから上巻はとてもしっかりかかる。ただ、主人公は物語の中で生き、何かを感じ生きているのだ。

この物語には数々の引っかかりを感じる。主人公の考え方が自分の考え方に引っかかる。登場人物の何かが自分と引っかかる。なぜかひりひりした感覚ばかりが引っかかる。小説や漫画などの物語の面白さには、登場人物と自分との感覚に共通点を見出す所にもあるが、この物語は幾度の引っかかりが最後に私を全力ですくい上げた。

この物語は単調な物語だ。主人公の思考回路が判ってしまうと、ラストも簡単に想像できる。でも、これは物語ではない。文章とか言葉とか、そんなものではないのだ。



\*『サラバ! (上・下)』は、西加奈子にとって作家生活10周年の記念の作品です。そして初めての長編小説です。この作品で第152回直木賞を受賞し、まさしく西加奈子の代表作となりました。かつて作者が暮らしたイラン、大阪、エジプトを舞台に、主人公とその不思議な家族が織りなす物語を、是非、お読みください。



## 冬休みの利用について

### ・冬休み特別貸出について

12月21日(月)～12月25日(金)

ひとり5冊まで貸出可能です。返却日は1月8日(金)です。

### ・冬季休業中の学習室の利用について

12月26日(土)～1月3日(月)

8:30開館 16:30閉館

(ただし3年生の模試が実施される12月28日(月)は16:45閉館とします。)

1月4日(月)～1月7日(木)の模試および冬季課外のある日は16:45閉館となります

- ・昼食のための視聴覚室開放は、12:00～13:00です。
- ・冬休み中は、掃除ができません。消しゴム等は、必ず各自でゴミ箱に捨ててください。
- ・次の日も気持ちよく使えるように、各自で後片付けをしっかりとってください。



みんなの頑張る背中に  
励まされます!  
目標に向かって  
頑張りましょう!!



# 11月のクラス別貸出統計

# 275冊

4月の総貸出冊数 844冊      5月の総貸出冊数 311冊      6月の総貸出冊数 454冊  
 7月の総貸出冊数 235冊      8月の総貸出冊数 64冊      9月の総貸出冊数 179冊  
 10月の総貸出冊数 204冊

学年組	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	7	2	4	0	41	10	40	3	9	31	0	3	50	24	16	2	0	1	4	4	12	0	4	8
合計	107冊								135冊								33冊							

\*忙しい毎日ではありますが、時間を見つけて読書を楽しんでください。楽しむための読書だけではなく、考えるための読書・役に立つ読書にもチャレンジしてみましょう。

## 新着図書案内

\*ストレスは誰にもある。それをどう変換するかが大事!  
 『スタンフォードのストレスを力に変える教科書』  
 ケリー・マクゴニガル 著 (大和書房)

\*猫の写真に癒やされますニャン。  
 『人生はもっとニャンとかなる!』  
 水野敬也 著 (文響社)

\*数学が苦手な人に読んで欲しい本。  
 『ワナにはまらないベクトル行列』  
 大上丈彦 著 (技術評論社)

\*冒険家による読書案内。  
 『探検家の日々本本』  
 角幡唯介 著 (幻冬舎)

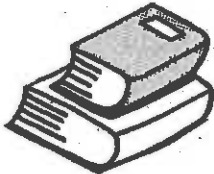
\*ある一家の夏の記録  
 『柘榴パズル』  
 彩坂美月 著 (文藝春秋)


\*美味しい料理を作ろう!  
 『だれにも聞けない 料理のギモン解決します!』  
 (主婦の友社)

\*辻村深月は本が大好きな作家である!  
 『図書室で暮らしたい』  
 辻村深月 著 (講談社)

\*久々の村上春樹の紀行文!  
 『ラオスにいったい何があるというんですか?』  
 村上春樹 著 (文藝春秋)

\*青銅器時代のギリシアを舞台にした歴史冒険ファンタジー  
 『神々と戦士たち I・II』  
 ミシェル・ペイヴァー 著 (あすなる書房)






## 編集後記

あっという間に、12月が過ぎていこうとしています。「瞬く間」とはこういうことなのでしょう。この一年、心に残る本との出会いはありましたか? まだという人は、冬休みに心に残る本を見つけてください。三年生の皆さんにとって、大切な冬休みです。何かのCMのように「見せてやれ 底力」です。体調管理に十分気をつけてください!

お忙しい中、原稿をお書きくださいました中嶋先生、本当に有難うございました。上・下巻の分厚い本ですが、冬休みに読んでほしい物語です。


 良い年をお迎えください!
 